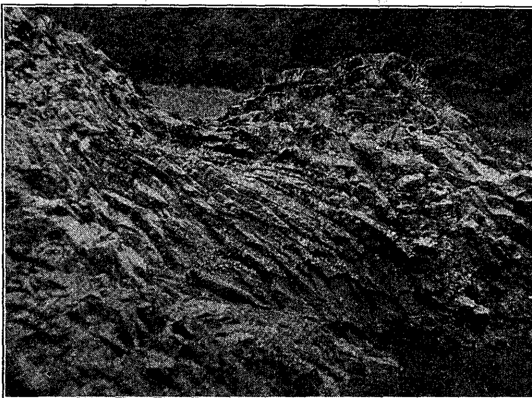
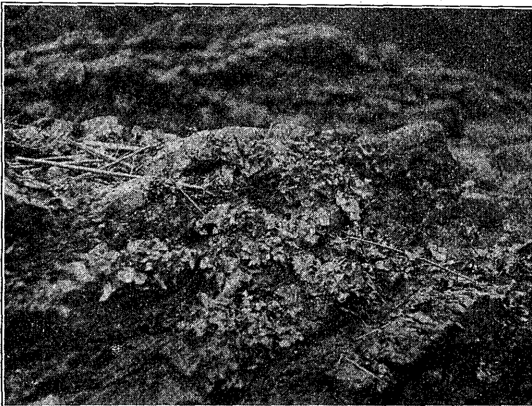
サレル樣ニ色々ニ變化シ得ルノデアルカラアマリ重點ヲ置ク事ヲ得ズ、シタガツテ BAKER ノ記載トノ食ヒ違ヒハ看過シ得ラレルモノト思ハレル。本種ハブラジル南部ノ原產ト言ハレ種々ノ園藝品ノ親トナツテヰルガ、觀察シタ本品ハ殆ド原種ニ近イモノト思ハレル。小笠原島デハ父島ト母島ニ普通ニ栽培セラレ、所ニヨツテハ半野生的ニナツテ居ル。同島デハ葉ハ冬期モ枯死シナイ。　　（津　山　　尙）

○尾張犬山附近ノ地衣

地表ヲ採集スル爲ニハ誰レモ先ヅ高山ノ所謂地衣帶ト稱スル地區ヲ目指シテ行クノハ常識デアル、サリトテ低地ノ地衣相ヲ閑却シテハ一地方ノ地衣フロラハ何時迄モ完成シナイノデアル。本年ノ夏ハ所用ノ爲ニ遠征ガ不可能デアツタノデ少閑ヲ利用シ尾張犬山附近ノ木曾川沿岸ヲ採集シタ。其第一ノ目標ハ所謂日本ライント稱スル區域ノ河中ニ突出スル岩石デ豫想ニ違ハズみたきのり (*Thyrea hondana* A. ZAHLBRUCKNER),（本誌第 7 卷 275 頁）ノ大群落ガアリ、又 *Heppia* GUEPINI (Del.) NYL（本誌第 7 卷 325 頁及第 10卷 683 頁參照）ト覺シキモノヲ多量ニ得タ。嘗テ記載シタ *Heppia japonica* Y. ASAHINA ニ比ベルト葉體ガ鳶色デ黑色デハナク且ツ粉子モ楕圓形デ紡錘形デナイ、サレバトテ歐洲產ヤ滿洲產ノ *H. Guepini* ニ全ク一致ハシナイガ目下ノ所デハコレト同定スヨリ仕方ガナイ。又此處ニハかはいはたけ (*Dermatocarpon miniatum*) ガ非常ニ多ク蕃殖シ、日本ラインノコースヲ舟デ下リツヽ岩石ノ水邊ニ近キ部位ヲ凝視シテ居ルト幾ラデモ大群落ヲ見付ケルコトガデキル、第二ノ目標ハ木曾川ノ兩岸ニ連續スル高サ 100-200 米位ノ丘陵デアル、コヽニハ主ト



犬山橋ノ上流木曾川中ノ岩石かはいはたけノ群落アリ
（日下綱治撮影）



同上ノ一部ヲ稍々擴大、扁平ナル着生物ハ盡クかはいはたけ
（日下綱治撮影）

シテ赤松ガ生エ下草ハナク赤土ヲ裸出シテ居ル、燥原ニ近イモノト思ハレルガ此處ニ發生スル *Cladonia* ノ類ハ中部歐洲ノ不毛ナル原野、矮樹林等ニ出現スル種類ニ酷似シ *Cladonia rangiferina* f. *tenuior*, *Cl. sylvatica* f. *decumbens*, *Cl. aggregata*, *Cl. crispata*, *Cl. squamosa*, *Cl. verticillata*, *Cl. subcariosa*, *Cl. strepsilis* 等ガアル、又土田村ノ遊覽船發着所附近ノ山手デけつとごけ (*Dictyonema sericeum*) ノ一小片ヲ採ツタ盖シ從來ノ最北限ノ產地遠州秋葉山（本誌第3卷 150 頁）ヲ北ニ越ユルコト約 50 粁程デアル。

（朝 比 奈 泰 彦）

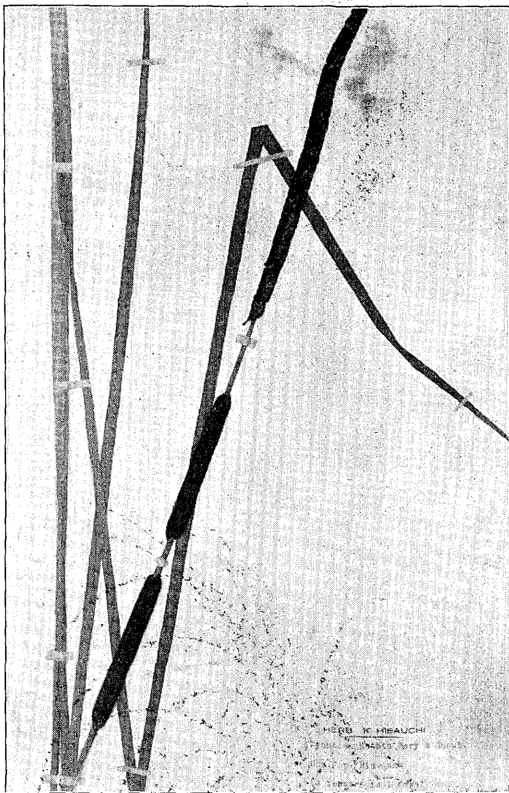
○かぢのきノ葉ノ著キ方

かぢのき (*Broussonetia papyrifera* Vent.) ノ葉ノ着キ方ハドウナツテ居ルカ？ト問ハレタラ何人モ言下ニ互生ト答ヘルデアラウ。シカシ其レハ公ノ場合ノコトデアツテ對生ノコトモアル。一般ニ莖ノ頂部デハ對生デ、生長スルニ從ヒ互生ニナル。中ニハ互生ト對生トヲ交互ニヤツテ居ルコトモアル。余ハソンナ標本ヲ持ツテ居ル。あさハ大體幼本ガ對生デ生長スルト互生ニナルコトハ餘リニモ名高イガ、かぢのきハ正ニ其レト反對デアル。別ノ科デハアルガべんけいさう科ノ小草こもちまんねんぐさナドモあさ式デアルコトモ知レ渡ツタ事實デアル、對生ダノ互生ダノ餘計ナコトヲ云フカラコンナ場合ニ困ルノデアル。葉序ハ 2/5 ヲ示シナドト威張ルノハ壇ノ上丈ケデ云フコトダ。

（久 内 清 孝）

○ひめがまノ奇態

ひめがま (*Typha angustata* Bory et Chaub.) ノ花穗ハ雄穗ト雌穗トノ間ニ間隔ヲ有スルモノダガ本品ハ雌穗ガ二段ニナリタル爲メ一見異樣ヲ呈シテ居ルガ、タダ夫レ丈ノ事デアル依ツテひめがまノ一奇態トシテ報告シテオク。昨年ノ夏千葉縣ノ八積附近ノ池沼中デひめがまノ常態ノモノニ伍シテタダ一本見附カツタモノデア



ひめがま雌花穗ノ中斷